

4 文化を基軸としたまちづくり

巨匠たちが過ごした伝説のアパートを再現 トキワ荘マンガミュージアム

手塚治虫をはじめ、マンガ界を牽引した多くの巨匠が若き日に住んだ「トキワ荘」。1982年に老朽化のため解体されました。2020年7月7日、マンガミュージアムとしてよみがえりました。区内の小学生も来館し、当時のマンガ家たちの取組を地域の文化として学習しています。来館者数は6万人を超え、豊島のマンガ文化発信の拠点施設です。

特別企画展 「トキワ荘と手塚治虫－ジャングル大帝の頃－」



開館1周年を記念した七夕飾り (2021年7月7日～11日)



1周年には4000の願いが
込められた短冊が集まる



世界中からファンが集結 アニメの聖地・池袋

「乙女ロード」をはじめとするポップカルチャーの発信拠点が繰々と誕生し、国内外のアニメ好きが集うまち、池袋。アニメ・ポップカルチャーが大集合する国内最大級のイベント「池袋オータムカルチャーフェスティバル」や、世界中のアニメーションファンやクリエイターが観客に刺激と感動を与える国際アニメーション映画祭「東京アニメアワードフェスティバル」が開催されます。年間を通して世界中のアニメファンが楽しめるイベントを展開し、アニメの聖地・池袋を盛り上げます。

池袋ハロウィンコスプレフェス



©池袋ハロウィンコスプレフェス 2021

東京アニメアワードフェスティバル



©TAAFEC All Rights Reserved. イラスト：京都アニメーション



野外劇場GLOBAL RINGを拠点に本格的なクラシックコンサートを Tokyo Music Evening Yube

生まれ変わった池袋西口公園野外劇場（GLOBAL RING THEATRE）を舞台に、アフター・ザ・シアター及びナイトライフ観光推進の一環として、令和元年12月より本格的なクラシックコンサート「Tokyo Music Evening Yube」を原則毎週水曜日午後7時より開催しています。豊島区芸術顧問に就任している「炎のマエストロ」小林 研一郎氏、世界的指揮者 西本 智実氏、NHK交響楽団メンバーによる室内合奏団、東京都交響楽団といった著名な音楽家及び楽団がクラシックの神髄をお届けします！！



小林 研一郎

西本 智実 & イルミナートフィルハーモニーオーケストラ
©豊嶋 希沙

NHK交響楽団メンバーによる金管五重奏

国際文化都市として、心地よいクラシック音楽が流れるまちづくりを区内全域で実現

街なかクラシックプロジェクト

本格的なクラシック音楽をより身近に親しんでいただくための活動を行っている一般財団法人100万人のクラシックライブの協力のもと、「街なかクラシックプロジェクト」として、劇場だけでなく、公共スペースを活用したクラシックコンサートを区内全域で展開します。



文化を基軸としたまちづくり

特別な年だからこそ、思い出に残る文化体験を。

区制施行90周年を記念した文化事業

過去と現在、その先の未来をつなぐ、区制施行90周年という特別な年ならではの文化事業を展開。

豊島区が一貫して取り組んできた文化によるまちづくりの集大成として、国際アート・カルチャー都市を推進します。

90年の歴史を芸術・文化とともにご紹介



郷土資料館特別展イメージ

(仮)大豊島区展～過去から学び、今日を生き、未来に希望

◆企画展「(仮)昭和の暮らしと遊び」(5月～郷土資料館)

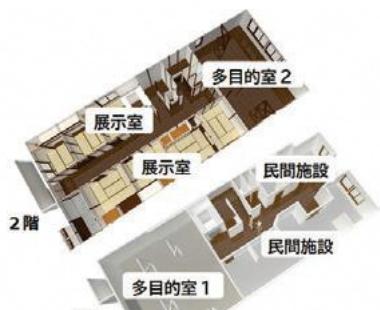
◆特別展「(仮)大豊島区展～過去から学び、今日を生き、未来に希望」
10月より、区の歴史と大きく変貌した現在を、郷土資料、ジオラマ、池袋モンパルナス等の美術作品、江戸川乱歩などゆかりの作家の文学作品などで展示、さらに100周年に向けた将来像を紹介

◆連動企画 (10月～雑司が谷旧宣教師館、鈴木信太郎記念館)

昭和の歴史・文化を次世代に継承



味楽百貨店



整備イメージ

(仮称) 昭和歴史文化記念館の整備

昭和20年代建設の「味楽百貨店」を活用して、昭和の雰囲気のある文化施設を整備。オープン時に企画展を開催。

◆「(仮称) タイムトリップ 豊島区の90年」

昭和の時代に撮影された写真と、現在の写真を比較できるように展示し、当時の区内の景観や生活様式を振りかえる。

◆「(仮称) これも学習マンガだ！展」

マンガを通じて楽しみながら学べる「これも学習マンガだ！」から作品を選定し、子どもが楽しみ学べる参加型展示を実施。

民間企業との連携による新たな事業展開



(左) 音楽フェス（イメージ）



(右上下) ドラムサークル（イメージ）

良質で親しみやすい文化をお届けします

◆音楽によるまちづくりの推進

池袋西口公園野外劇場など、区内会場にてクラシック音楽中心のフェス形式のイベントなどを開催

◆芸術文化劇場での文化鑑賞の機会創出

伝統芸能や大衆芸能など、としま文化の日を中心に、豊島区立芸術文化劇場での区民の鑑賞機会を確保

文化を基軸としたまちづくり

～週末ごとの新しい出会い～

IKE·SUN PARK FARMERS MARKET (イケ・サンパーク ファーマーズマーケット)

2020年12月に開園した区内最大の広さを持つ「IKE·SUNPARK（としまみどりの防災公園）」。毎週末、農産物や区内商店の名品などを販売するファーマーズマーケットを開催し、新たな日常と賑わいを創出します。



コンセプト（3つの柱）

コミュニティ

埼玉県や友好・交流都市、近郊都市から集まる新鮮な農産物や食料品、区内商店の名品を販売。生産者と消費者、人とまちがつながる体験の場を創出します。

循環

生活のインフラとしてはもちろん、出店者と共に、地域に根差し、日常を彩り、発信し続ける場をつくります。また、環境等にも配慮した循環型のマーケットを目指します。

スタートアップ

新規出店や新商品開発、若い世代の参加など新しい取組が絶えずあり、常に発見や魅力、成長に触れられる場として、地域の賑わいを創出しています。

SDGsの取組

ファーマーズマーケットは、「自治体SDGsモデル事業」の第1号としてスタートしました。マイバック持参、電気バスIKEBUSによる来場推奨など様々な面で持続可能な取組に貢献。マーケット内には区の取組を発信するブースも設けています。

新しいスポーツの拠点

旧第十中学校跡地野外スポーツ施設の整備

旧第十中学校跡地では、民間活用の事業手法により多様なスポーツに対応した野外スポーツ施設を整備し、子どもや高齢者、障害のある方など、誰もがスポーツを楽しみ、交流し、憩える新たなスポーツ拠点を創出します。



管理棟イメージ

◆多様なスポーツに対応した施設

国際規格を備えたサッカーをはじめ、少年野球やラグビーなど多様なスポーツに対応した多目的グラウンドやテニスコートを整備

◆誰もが安全・安心してスポーツを楽しむことができる施設

バリアフリー、ユニバーサルデザインに配慮し、障害のある方も利用しやすい施設として整備

◆地域コミュニティの活性化

スポーツ大会等で活用できる管理棟の多目的スペースや地域の皆さんができる会議室、ミニ防災備蓄倉庫を設置